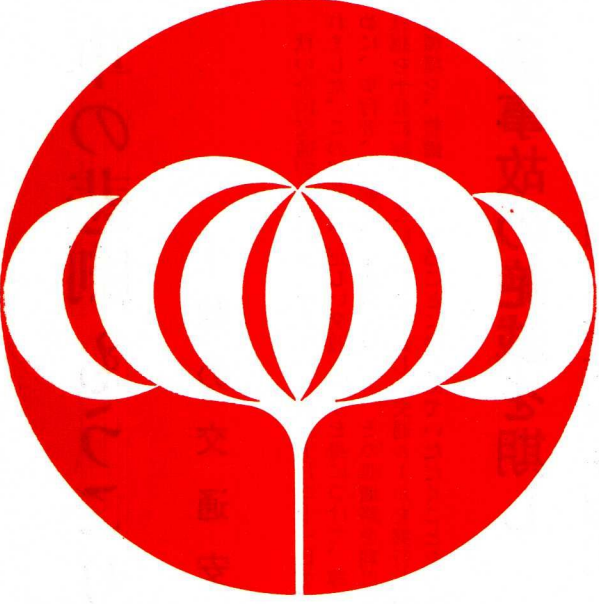


産業文化祭を開催

明治百年を記念して

十一月九日から三日間



明治百年

明治の偉業をたたえ

現代の繁栄をよろこび

未来を若人に託す

産業文化祭予定

- 明治百年記念式典 9日午前10時 中学校体育館
- 農産物展示会 中学校
- 学芸展示会 中学校
- 農機具展示会 駅前通り
- 生花展示会 中学校
- 菊花展示会 役場
- 以上9日~11日
- 芸能大会 9日~10日 昼 駅前通り 夜 研修所
- 町民運動会 10日 中学校
- 野球大会 9日 中学校
- 舞踊詩吟大会 9日 后 中学校
- 音楽パレード 9日 町中央通り

明治百年に想う



今年の十月二十三日は明治に改元されてから、丁度百年目にあたります。この日、国においては、天皇、皇后両陛下をおむかえして厳しく裡のうちに明治百年記念式典があげられました。このことについては賛否両論があつて、なかなかぎやかな論議が展開されておりますが、私は、日本国民である以上、この日を祝うことに、いささかもためらうことはあるまいと思ひます。明治は、世界史にも類例をみない飛躍と高揚の時代でありました。日本はこの間に封建制度から脱却し、全国民は驚くべき勇気と精力をかたむけて近代国家の建設に向つて、まい進したのであります。この百年間、わが国は、世界を鼓舞した壮挙もあれば、顧みてたゞすき過ちもなはいとはいへないでしょう。しかしながら、この時代に先人が築き上げた基盤が、政治、経済文化その他すべての面にわたつて偉大で強固なものであつたためこのたびの大戦禍にもかかわらず世界の奇跡といわれるまでに、急速な復興をと

げ、現代の繁栄を喜ぶことができるのであります。私は、この先人の勇氣と聡明と努力に対する敬意と称賛の念を禁じ得ません。「明治は遠くになりけり」と言う言葉が流行していますが、私はむしろ「明治は今日も生きている」と申し上げたいのであります。いま、明治百年に想ふことは、われわれが先人から受けた、この恩恵に感謝し、その幸せをいっそう大きくして次の世代に引き継ぐと願ふことは、きわめて自然な道であり、人間としての責務であるものと存するのであります。わが国の国際的地位の向上とともに、私たち日本国民に課せられた期待は大きく、新たな創意と覚悟が要請せられております。とくに、次の日本の担い手である若い世代には、この状況に對処し、各種の課題を解決するに足りる、物心両面におけるいっそうの努力が期待されてゐるのであります。私たちは、過去の業績をかえりみるにとどまらず、その遺産である経験と教訓とを現代に生かし、新世紀への歩みを正しく、かつ確固たるものにする決意を明らかにしなければなりません。将来への限りない希望をこめて明治百年を記念し、祝いたいと存じます。 昭和43年10月23日 玉造町長 坂本常蔵

教育長に宮本純氏

教育委員の改選 宮本、笹目氏再選

教育委員、宮本純（五三才）笹目吉男（五四才）の両氏は、十月十一日で任期が満了したので、後任委員選任のため、同日臨時議会が招集され、町長より両氏の再任について提案がなされ、同意が得られたため十月十二日付けで任命されました。これにともない、十月十七日教育委員会（委員長 金塚憲吉氏）が招集され、宮本純氏が教育長に互選されました。

自衛隊さん

ご苦労さま

手賀小整地工事終る

手賀小学校の敷地整地工事は、九月十六日から、自衛隊施設隊の作業で続けられました。十月十二日その全部を終了しました。作業に従事したのは、陸上自衛隊施設教導大隊玉造作業隊（隊長 金沢一曹以下二十名）で、不順な悪天候をついてブルドーザを駆使して一万八千方以上に及ぶ切土盛

納税者の声をきく旬間

今日から十日までの間、全国的に税務行政改善の参考資料とするため「納税者の声を聞く旬間」が行われます。麻生税務署では、この旬間行事のひとつとして「税務署長にもお申す式の手紙」をいま募集しております。日頃、納税者のみなさんがたが感じている、税務行政に対するご意見、ご要望、または苦情などを多数投書して、不平不満などをなくしましょう。

11月のメモ

- 1日 教育文化週間 灯台記念日 自衛隊記念日 新米穀年度始まる 岩手県平泉の藤原祭り 北原白秋没（昭和17） 文化の日
 - 2日 明治神宮祭 原敬暗殺される（大10） 狩野芳崖没（明治21） 島村抱月没（大7） 立冬
 - 3日 京都ふいご祭り
 - 4日 太陽暦採用記念日
 - 5日 世界平和記念日
 - 6日 京都嵐山もみじ祭り 小林一茶没（文政10） 小雪
 - 7日 勤労感謝の日 樋口一葉没（明治29）
 - 8日 秋の火災予防運動始まる 親らん上人忌（弘長2）
 - 9日
 - 10日
 - 11日
 - 12日
 - 13日
 - 14日
 - 15日
 - 16日
 - 17日
 - 18日
 - 19日
 - 20日
 - 21日
 - 22日
 - 23日
 - 24日
 - 25日
 - 26日
 - 27日
 - 28日
 - 29日
 - 30日
- 寒くなると、外出先から、あるいは野良仕事から帰って一ふろあびるのが、なんともいえない、たのしみなものです。からだはあたたまし、つかれはとれるし、まことに安上りな健康法です。ところで、そのおふろも、へたにはいると湯がめをせかしてひいたり、熱すぎたのをせかしてしまったりかえってからだをつかれさせたりします。まず、湯がめの原因は、浴室が寒いことです。すき間風のはいるところをふさいだり、ビニールのカーテンで仕切ったりしましょう。浴室をあたためたかしたら、お湯はむしろぬる目が健康上いいようです。とくに高血圧の方などは、寒い浴室で熱いお湯は禁物です。このごろ、農家でもプロパンガスを使つて湯をわかすところが多くなりました。一般にガスを使うときは、いっぺんに火をつくより、より、多少ガスを使ひをほってなん回も湯をかきまわしながらお湯が効率的な、ほんの弱火で少しづつあたためながらはいることです。強火でわかして、火を消すやり方は感心できません。しかし、火を弱くしておくと、風で、ほのおが消えてしまい、うっかりするとガス中毒にやられてしまいます。とくに、ガス利用のふろへは、子どもひとりいれておくのはやめましょう。

交通災害共済が発足してから五ヶ月がすぎましたが、玉造町では、まだ加入者は四五五人と町の全人口の四%にも達しません。

この共済制度は、会費を納めて会員になった人が、万一自動車事故等の交通災害にあったときに、見舞金を贈って、その場の出費にあてていただくというものです。

▽会費 一年三百六十円
中学生以下三〇〇円
▽見舞金 最高五〇万円
▽会員期間 会費を納めた翌日

交通

一日一円で五〇万円の見舞金

電車や汽車にひかれた場合も含
まれます。
見舞金を受けられる場合はこの
交通事故により会員自身が、傷害
を受けたときに限ります。したが
って、会員自身無傷の場合は、た
とえ相手にキズをあたえたときで
も身障見舞金

診附書（いすれい）
用紙は役場、町民室の窓口に着意
してあります）及び印かんをもつ
て役場の窓口で請求して下さい。
見舞金は請求してから即日払い
か、おそくとも五日以内にお払い
いたします。

○申込みは班長さん、又は役場の町民室窓口で受けつけています

○交通事故の範囲

この共済制度で、交通事故とは自動車、バイクなど道路交通法という車輛による事故のほか、

○見舞金はうけられません。一方、会員自身がギズを受けたときはたとえ加害者の場合でも、見舞金を受けられます。

○請求の手続き

万一会員が、会員期間中に交通

會員期間中の交通事故による傷害が原因で、その後一級または二級の身体障害者となったときは、共済見舞金のほかに身障見舞金として一〇万円が別に支払われます。

◎ 見舞金の額		
共 済 見 舞 金	災 害 区 分	見舞金
	死亡した場合	500,000円
	全治6か月以上の 傷害を受けた場合	100,000
	㊦ 3か月以上 ㊦	50,000
	㊦ 1か月以上 ㊦	20,000
	㊦ 1週間以上 ㊦	5,000
	㊦ 1週間未満 ㊦	2,000
身 障 見 舞 金		100,000

— 秋の交通安全運動 —

秋の全国交通安全運動は、十月十一日から十月二十一日までの十日間全国いっせいに行われました。この運動は、正しい交通ルールを身につけて、尊い人の命を交通事故から守るために、歩行者、運転者、運転者の雇い主、その他道路を利用するすべての人に、交通安全の思想を十分に理解していただき、正しい交通ルールを実行し習慣づけるとともに、道路の交通環境を、整備、改善することにつとめていただくことを目的としています。

交通事故の絶滅を期し

町の交通安全憲章を制定

秋の交通安全旬間を前にした十月一日に、茨城県では「交通安全交通事故をなくす方法はありません。」

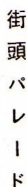
最近とくに見立ってきたよっぱらい運転、無免許運転、ダンブカ1の暴走等は交通暴力といわれています。このような暴走者を発見しています。このような警察署等に知らせるなど、悪質違反者を一掃して、楽しい交通のできるように心がけましょう。

玉造町交通安全憲章

われわれ玉造町民は交通安全宣言の町の住民として誇りと自覚に徹し、交通秩序を守り交通事故の絶滅を図るため、ここに玉造町交通安全憲章を定める。

1. 右側歩行を励行する。
2. 正しい横断をする。
3. 車の直前直後は横断しない。
4. 交通信号を守る。
5. 運転するときは酒を飲まない。
6. 運転者には酒を飲ませない。
7. 駐車禁止地区には駐車しない。
8. 道路には物件を放置しない。
9. 無免許運転及び無資格運転はしない。

玉造町交通安全対策協議会



交通安全旬間に思う

娘を失なつた父親の手記

恒例の「秋の全国交通安全運動」が十月十一日から二十日まで実施されましたが、毎年同じようにこの句間を迎えるたびに、私は悲しい出来ごとを思いなおい、自身自身の行動を反省するとともに、自動車運転するすべての者が、なお一そう安全運転に心がけて、無事故、無違反の毎日を送っていただきますといと念願いたします。

めて快適にすぎ十時前には目的地の長瀬峽に到着しました。

岩を登り、水に浸って喜々として遊ぶ子供達姿を見つながら私達夫婦は今日の計画のすばらしさに満足していました。家族四人が大岩に腰をおろし、開けられた手づくりの弁当の味は今も忘れません。高級なレストランのそれにもまさる格段のおいしさがあります。

悲しい教訓

東京から国道十七号線の戸田橋

を渡って北へ一時間、平坦な道を
真すぐ進むと鴻巣市へ到達します
この市街地を過ぎて、さらに一
きほど先の地点が私にとって一生涯
忘れることのできない悲しい思い
つたのです。
走行を続ける私達の車の後方か
ら猛スピード（検察庁認定時速八
十キロ）で私達を追越そうとするラ
イトバンを発見しました。危険を

[illegible]

八才)のめい福を祈る凡父として
せめてもの心使いの行為なのです
悲しい思い込の発端は、八年前
のうららかな秋日和の日曜の午後
でした。休日的一天を家族そろつ
て私には、車体が回転する瞬間、不
思議な錯覚と覚悟が脳裏に交錯し
たため、急ハンドルを切つて休
むことができました。

て楽しもうと計画し、親子四人（私と妻・長男と長女）は長湊峡へドライブしました。行き二時間の行程は途中車の混雑もなく、きわ

ました。それは過去（戦時中）に幾度か経験した急降下、爆撃、そして反転急上昇する戦斗スリルを無意識のうちに再現している不可

私設救急車

西蓮寺にお目見え

西蓮寺の飯島勝治さんは、日に増す悲惨な交通事故の負傷者を一刻も早く救出しようと、自家用ライトバンを々私設救急車々に仕立て事故者の救済に大きな成果をあげています。

飯島さんは、さる四十一年に養父の勇さんが自宅附近の県道でト

と負傷者を自分の乗用車で病院まで收容していました。が、乗用車で重傷者の運搬に不便なためさる九月に、ライトバンを六十八万円円で購入。車体に々私設救急車々々大書し、車内には救急箱、たんか敷ぶとんなどを常備して出勤に備えています。

ラックにはねられ一ヶ月の大きけをしました。救急車を呼ぼうにも行方郡内には救急車が配備されていないため送方にくれたにがい経験をもっています。

当の飯島さんは戦時中に十年間衛生准尉として活躍した経験を生かし、事故現場から病院へ収容するまでの間、応急処置にあっているということです。

ことしの立冬は七日。暦の上に
冬がくると、もう寒さがかけ足で
やってきます。なにかと気ぜわし
いのが十一月ですが、師走にはい
る前に季節の家事に区切りをつけ
ておきましょう。

衣 秋から初冬への変わり目は、からだがまだ寒さになれ切れないためか、あるいは着衣がそれにふさわしくないためか、よけいに寒さを感じます。気温に応じた着かたを工夫して、かぜなどをひきこまぬよう注意したいでしょう。

煙仕事や外での仕事をする家族のために、下着に気を配り、保温性のあるものを準備してあげましょう。

洋服類もそろそろ冬着にかわる
ころですが、昨年よく手入れをし
てあれば、ことしも、さっぱりし
て着られます。しまいぐせのつい
た洋服は、みっともないものです
必ずプレスしてから着ましょ。う
家庭でプレスするために「ウマ」
を一つ買っておくと便利です。

食 魚類は豊富です。近海ものの
アジ、サバ、サンマがおいしいし
タラ、ヒラメなども多く出ていま
す。ヒラメは生のままの方が消化
もよいので、病人がいる家庭では
おサシミにしてあげましょう。

野菜も、ホーレン草、カリフラ
ワー、シュンギク、白菜がたくさ
んあります。

養価の高い野菜で、ビタミンA、B、Cやミネラルも含んでいて、とくに貧血症には欠かせません。サツとゆでる（ゆですぎない）ことがたいせつです。

カリフラワーをグラタンにする
と、若い人によろこばれます。シ
ュンギクも、ホーレン草こついで

ビタミンの豊富な野菜です。す
き焼きにはよくあいます。
くだもでは、ミカン、リンゴ
の最盛期にはいります。いずれ
も私たちの栄養にかかせません。
できるだけたくさん食べましょ
う。

住 朝夕めつきに寒くなりました
寒い室は、家族の団らんので

すが、日本家屋は、ともするとすき間風がふきぬけます。まず、すき間風をふせぐ、工夫をこらしてください。

日のあたらない室があったら、暖房の工夫をし、冬中をたのしく過ごす研究をしてみましょう。

羽